

11 どうか、私たちの父なる神であり、また私たちの主イエスである方ご自身が、私たちの道を開いて、あなたがたのところに行かせてくださいますように。
 12 また、私たちがあなたがたを愛しているように、あなたがたの互いの間の愛を、またすべての人に対する愛を増させ、満ちあふれさせてくださいますように。
 13 また、あなたがたの心を強め、私たちの主イエスがご自分のすべての聖徒とともに再び来られるとき、私たちの父なる神の御前で、聖く、責められるところのない者としてくださいますように。

1テサロニケ

1:4-2:16

信仰の働き

神の福音のことばを信じよ歩む。

2:17-3:10

愛の労苦

主にあり兄弟どおしが喜ぶが喜ぶ。

4:1-5:22

望みの忍耐

命令のことばを守りて聖く正しく歩む。

主の日には、主とともに、主の兄弟とともに。

1
 1パウロ、シルワノ、テモテから、父なる神および主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。恵みと平安があなたがたの上にありますように。
 2 私たちは、いつもあなたがたすべてのために神に感謝し、祈りのときにあなたがたを覚え、
 3 絶えず、私たちの父なる神の御前に、あなたがたの信仰の働き、愛の労苦、主イエス・キリストへの望みの忍耐を思い起こしています。

テサロニケ人への手紙 第一

1テサロニケ 1:-5:

2013.5.17

テサロニケ I 5.

25 兄弟たち。私たちのためにも祈ってください。
 26 すべての兄弟たちに、聖なる口づけをもってあいさつをなさい。
 27 この手紙がすべての兄弟たちに読まれるように、主によって命じます。
 28 私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたとともにありますように。

23 平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。
 24 あなたがたを召された方は真実ですから、きつとそのことをしてくださいます。

2:1-8 19. 信じて喜ぶことばを 2:14-16 / 2:13 24. 信じて喜ぶことばを	1:7-10 / 1:4-6 24. 信じて喜ぶことばを 2:9-12 19. 愛をもち信じた。	信仰の働き [1:1-3] あいさつ 神の福音のことば = 信じたことば
3:1-4 19. はテサロニケの信じて喜ぶことばを 3:7-10 19. はテサロニケを喜ぶことばを	2:17-20 19. はテサロニケを喜ぶことばを 3:5-6 19. はテサロニケの信じて喜ぶことばを	愛の労苦 喜ぶことば、会いたい = 愛
4:13-18 主の日 / 眠る人 (死) 5:12-22 命令 / 良恵	4:1-12 命令 / 聖く歩む 5:1-11 主の日 / 目撃者 (生)	望みの忍耐

[5:25-28] (5:23-24)
 あいさつ (祈り)

母のように

神が証人

苦闘の中で福音を語り

愛し入れの御怒り

マケドニヤとアカヤの模範

神のことばを受け入れ

4 神に愛されている兄弟たち。あなたがたが神に選ばれた者であることは私たちが知っています。
 5 なせなら、私たちの福音があなたがたに伝えられたのは、ことばだけによったのではなく、力と聖霊と強い確信とによったからです。また、私たちがあなたがたのところへ来たのは、あなたがたのために、どのようにふるまったかは、あなたがたが知っています。
 6 あなたがたも、多くの苦闘の中で、聖霊による喜びをもってみことばを受け入れ、私たちと主にならう者になりました。

7 こうして、あなたがたは、マケドニヤとアカヤのすべての信者の模範になったのです。

8 主のことばが、あなたがたのところから出てマケドニヤとアカヤに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰はあらゆる所に伝わっているのです、私たちは何も言わなくてよいほどです。

9 私たちがどのようにあなたがたに受け入れられたか、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、
 10 また、神が死者の中からよみがえらせなされた御子、すなわち、やがて来る御怒りから私たちが救い出してくださるイエスが天から来られるのを待ち望むようになったか、それらのことは他の人々が言い広めているのです。

2

1 兄弟たち。あなたがたが知っているとおり、私たちがあなたがたのところに行ったことは、むだではありませんでした。

2 承知のように、私たちはまずピリビで苦しみ会い、はずかしめを受けたのですが、私たちの神によって、激しい苦闘の中でも大胆に神の福音をあなたがたに語りました。

3 私たちの勧めは、迷いや不純な心から出ているものではなく、だましごともありません。

4 私たちは神に認められて福音をゆだねられた者ですから、それにふさわしく、人を喜ばせようとしてではなく、私たちの心をお調べになる神を喜ばせようとして語るのです。

5 ご存じのとおり、私たちは今まで、へつらいのことはを用いたり、むさぼりの口実を設けたたりしたことはありません。神がそのことの証人です。

6 また、キリストの使徒たちとして權威を主張することもできたのですが、私たちは、あなたがたからも、ほかの人々からも、人からの名譽を受けようとはしませんでした。

7 それどころか、あなたがたの間で、母がその子どもたちを養い育てるように、優しくふるまいました。

8 このようにあなたがたを思う心から、ただ神の福音だけではなく、私たち自身のいのちまでも、喜んであなたがたに与えたいと思つたのです。なせなら、あなたがたは私たちの愛する者となったからです。

追出す御怒り

ユダヤ人が模範

神のことばを受け入れ

父のように

神が証人

苦闘の中で福音を語り

9 兄弟たち。あなたがたは、私たちの労苦と苦闘を覚えていてでしょう。私たちはあなたがたのだけれにも負担をかけまいとして、昼も夜も働きながら、神の福音をあなたがたに宣べ伝えました。
 10 また、信者であるあなたがたに対して、私たちが敬虔に、正しく、また責められるところがないようにふるまったことは、あなたがたがあかしし、神もあかししてくださるのです。

11 また、ご承知のとおり、私たちは父がその子どもに對してするように、あなたがたひとりひとりに、
 12 ご自身の御国と栄光とに召してくださる神にふさわしく歩むように勧めをし、慰めを与え、おごそかに命じました。

13 こういうわけで、私たちとしてもまた、絶えず神に感謝しています。あなたがたは、私たちが神の使信のことばを受けたとき、それを人間のことばとしてではなく、事実とおりに神のことばとして受け入れてくれたからです。この神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いているのです。

14 兄弟たち。あなたがたはユダヤの、キリスト・イエスにある神の諸教会にならう者となったのです。彼らがユダヤ人に苦しめられたのと同じように、あなたがたも自分の国の人に苦しめられたのです。

15 ユダヤ人は、主であられるイエスをも、預言者たちをも殺し、また私たちをも追い出し、神に喜ばれず、すべての人の敵となつています。

16 彼らは、私たちが異邦人の救いのために語るのを妨げ、このようにして、いつも自分の罪を満たしています。しかし、御怒りは彼らの上に臨んで窮みに達しました。

1:7-10 / 1:4-6

異邦人 神に信じて救われん。

2:9-12

12. 愛をもつて働いた。

2:1-8

19. 権威をもつて語った。

2:14-16 / 2:13

異邦人 神に信じて喜ばれん。

顔を見たい、喜び、感謝

7 このようなわけで、兄弟たち。私たちはあらゆる苦しみと患難のうちにも、あなたがたのことは、その信仰によって、慰めを受けました。

8 あなたがたが主において堅く立っていてくれるなら、私たちは今、生きがいがあります。

9 私たちの神の御前にあって、あなたがたのことで喜んでいて私たちがこのすべての喜びのために、神にどんな感謝をささげたらよいでしょう。

10 私たちは、あなたがたの顔を見たい、信仰の不足を補いたいと、昼も夜も熱心に祈っています。

信仰と愛の知らせ、テモテを遣う

5 そういうわけで、私も、あれ以上はがまんができず、また誘惑者があなたがたを誘惑して、私たちの労苦がむだになるようなことがあってはいけなと思っています、あなたがたの信仰を知るために、彼を遣わしたのです。

6 ところが、今テモテがあなたがたのところから私たちのもとに帰って来て、あなたがたの信仰と愛について良い知らせをもたらしてくれました。また、あなたがたが、いつも私たちのことを親切に考えていて、私たちがあなたがたに会いたいと思つるように、あなたがたも、しきりに私たちに会いたがっていることを、知らせてくれました。

苦難に会う、テモテを遣う

2 私たちの兄弟であり、キリストの福音において神の同労者であるテモテを遣わしたのです。それは、あなたがたの信仰についてあなたがたを強め励まし、

3 このような苦難の中にあつても、動揺する者がひとりもないようにするためでした。あなたがた自身が知っているとおおり、私たちはこのような苦難に会うように定められています。

4 あなたがたのところに行ったとき、私たちは苦難に会うようになる、と前もって言っておいたのですが、それが、ご承知のとおり、はたして事実となったのです。

3

1 そこで、私たちはもはやがまんできなくなり、私たちがアテネにとどまることにして、

顔を見たい、喜び

17 兄弟たちよ。私たちは、しばらくの間あなたがたから引き離されたので、——といつても、顔を見ないだけで、心においてではありませんが、——なおさらのこと、あなたがたの顔を見たいと切に願っています。

18 それで私たちは、あなたがたのところに行こうとしました。このパウロは一度ならず二度までも心を決めたのです。しかし、サタンが私たちを妨げました。

19 私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのはだれでしょう。

20 あなたがたではありませんか。

21 あなたがたこそ私たちの誉れであり、また喜びなのです。

6:9-4:1

3:1-4

19. はテサ.の信仰と愛の知らせ

3:7-10

19. は. テサ.を喜んだ

2:17-20

19. はテサ.を喜びたい

3:5-6

19. はテサ.の信仰と愛の知らせ

愛の苦難

愛の苦しみの会いは愛

主の日、眠る人々

13 眠った人々のことについては、兄弟たち、あなたがたに知らないでいらたくありません。あなたがたが他の望みのない人々のように悲しみに沈むことのないためです。

14 私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスといっしょに連れて来られるはずでです。

15 私たちは主のみことばのとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません。

16 主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、

17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。

18 こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。

命令 / 望み

4 1 終わりに、兄弟たちよ。主イエスにあつて、お願いし、また勧告します。あなたがたはどのように歩んで神を喜ばすべきかを私たちから学んだように、また、事実いままあなたがたが歩んでいるように、ますますそのように歩んでください。

2 私たちが、主イエスによって、どんな命令をあなたがたに授けたかを、あなたがたは知っています。

3 神のみこころは、あなたがたが聖くなることです。あなたがたが不品行を避け、

4 各自わきまえて、自分のからだを、聖く、また尊く保ち、

5 神を知らない異邦人のように情欲におぼれず、

6 また、このようなことで、兄弟を踏みつけたり、欺いたりしないことです。なぜなら、主はこれらすべてのことについて正しくさばられるからです。これは、私たちが前もってあなたがたに話し、きびしく警告しておいたところです。

7 神が私たちを召されたのは、汚れを行なわせるためではなく、聖潔を得させるためです。

8 ですから、このことを拒む者は、人を拒むのではなく、あなたがたに聖霊をお与えになる神を拒むのです。

9 兄弟愛については、何も書き送る必要がありません。あなたがたこそ、互いに愛し合うことを神から教えられた人たちだからです。

10 実にマケドニヤ全土のすべての兄弟たちに対して、あなたがたはそれを実行しています。しかし、兄弟たち。あなたがたにお勧めします。どうか、さらにますますそうであつてください。

11 また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をすることを志し、自分の仕事に身を入れ、自分の手で働きなさい。

12 外の人々に対してもりつぱにふるまうことができ、また乏しいことがないようにするためです。

2テサ3:

命令 / 良悪

12 兄弟たちよ。あなたがたにお願します。あなたがたの間で労苦し、主にあつてあなたがたを指導し、訓戒している人々を認めなさい。

13 その務めのゆえに、愛をもって深い尊敬を払いなさい。お互いの間に平和を保ちなさい。

14 兄弟たち。あなたがたに勧告します。気ままな者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、すべての人に対して寛容でありなさい。

15 だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ、お互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行なうよう務めなさい。

16 いつも喜んでいなさい。

17 絶えず祈りなさい。

18 すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

19 御霊を消してはなりません。

20 預言をないがしろにはいけません。

21 すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。

22 悪はどんな悪でも避けなさい。

主の日、望み

5 1 兄弟たち。それらがいつなのか、またどういう時かについては、あなたがたは私たちに書いてもらう必要がありません。

2 主の日は夜中の盗人のように来るといふことは、あなたがた自身がよく承知しているからです。

3 人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦に産みの苦しみか臨むようなもので、それをのがれることは決してできません。

4 しかし、兄弟たち。あなたがたは暗やみの中にはいないのですから、その日が、盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。

5 あなたがたはみな、光の子ども、昼の子どもだからです。私たちが、夜や暗やみの者ではありません。

6 ですから、ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして、慎み深くしていきましょう。

7 眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うからです。

8 しかし、私たちは昼の者なので、信仰と愛を胸当てとして着け、救いの望みをかぶとしてかぶって、慎み深くしていきましょう。

9 神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。

10 主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目ざめていても、眠っていても、主とともに生きるためです。

11 ですから、あなたがたは、今しているとおり、互いに励まし合い、互いに徳を高め合いなさい。